

東海北陸厚生局長 殿

国立大学法人
開設者 浜松医科大学医学部
学長 中村 達

浜松医科大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

1. 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
3. 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	41人
--------	-----

 (注)前年度の研修医の実績を記入すること
4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	300人	33.4人	333.4人	看護補助者	58.0人	診療エックス線技師	0.0人
歯科医師	10人	5.2人	15.2人	理学療法士	9.0人	臨床検査技師	49.5人
薬剤師	34人	0.0人	34.0人	作業療法士	4.0人	衛生検査技師	1.0人
保健師	0人	0.0人	0.0人	視能訓練士	3.0人	その他	0.0人
助産師	25人	2.1人	27.1人	義肢装具士	0.0人	あん摩マッサージ指圧師	0.0人
看護師	448人	29.2人	477.2人	臨床工学士	6.0人	医療社会事業従事者	0.0人
准看護師	5人	0.6人	5.6人	栄養士	0.0人	その他の技術員	9.3人
歯科衛生士	1人	1.0人	2.0人	歯科技工士	1.0人	事務職員	92.7人
管理栄養士	8人	3.8人	11.8人	診療放射線技師	23.0人	その他の職員	16.0人

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3. 「合計」の欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計数を記入すること。

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たりの平均入院患者数	431.1人	8.1人	439.2人
1日当たりの平均外来患者数	1,099.1人	45.3人	1,144.4人
1日当たりの平均調剤数			485.0剤

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱い患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	2人
超音波骨折治療法	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテララメド [®] のヘリコバクター [®] ピロ除菌療法	31人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)	8人
乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	19人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱い患者数

先進医療の種類	取扱い患者数
該当なし	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	該当なし	取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	48人	・膿疱性乾癬	6人
・多発性硬化症	18人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	52人	・原発性胆汁性肝硬変	5人
・全身性エリテマトーデス	192人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	43人
・再生不良性貧血	29人	・混合性結合組織病	20人
・サルコイドーシス	163人	・原発性免疫不全症候群	2人
・筋萎縮性側索硬化症	14人	・特発性間質性肺炎	27人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	160人	・網膜色素変性症	18人
・特発性血小板減少性紫斑病	42人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	21人	・肺動脈性肺高血圧症	12人
・潰瘍性大腸炎	133人	・神経線維腫症	12人
・大動脈炎症候群	16人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	20人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	0人
・脊髄小脳変性症	23人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4人
・クローン病	104人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	26人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患	140人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	4人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0人
・後縦靭帯骨化症	29人	・肥大型心筋症	0人
・ハンテントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	14人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	8人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	22人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症	23人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害	151人
		合計	1621人

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 膀胱水圧拡張術	・
・ センチネルリンパ節生検(乳がん)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には業務報告を行う3年前の4月以降に健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供したものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の 状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。
	<input type="checkbox"/> 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査 部門と開催した症例検討会の開催頻度	月 1 回 (乳腺カンファレンス) 月 1 回 (臨床研修 CPC) 週 1 回 (産婦人科術後カンファ レンス) 月 1 回 (CPC・PMC)
剖 検 の 状 況	剖検症例数 31 例 剖検率 12.4 %

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	国際共同治験を前提としたGCP等の治験制度及びその運用のあり方に関する研究	渡邊 裕司	臨床薬理学講座	4,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 厚生労働省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
2	難治性白血病に対する標準的治療法の確立に関する研究	大西 一功	化学療法部	17,269,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 厚生労働省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
3	小児期のメタボリックシンドロームに対する効果的な介入方法に関する研究	大関 武彦	小児科学	18,700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 厚生労働省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
4	成人期注意欠陥・多動性障害の疫学、診断、治療法に関する研究	中村 和彦	精神科神経科	7,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 厚生労働省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
5	治験の実施に関する研究(酢酸リュープロレリン)	宮嶋裕明	内科学第一講座	2,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 厚生労働省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
6	経皮ペプチド免疫療法によるヒトの悪性黒色腫治療	瀧川 雅浩	皮膚科学	3,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
7	サルマの統合失調症モデルの作出と統合失調症に対する神経幹細胞脳内移植療法の開発	森 則夫	精神神経医学	10,700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
8	子供のメンタルヘルスの大規模疫学及び脳機能研究—情動と社会性発達の観点から—	武井 教使	子どものこころの発達研究センター	2,800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
9	PETによる自閉症のセロトニン仮説の証明とそれを制御する遺伝子の同定と機能解析	中村 和彦	精神科神経科	3,900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
10	腫瘍血管内皮を標的とする分子標的治療薬の開発	杉原 一廣	産婦人科学	2,900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
11	エピゲノム、ゲノム、ミローム解析による臨床検査値異常のメカニズムに関する研究	前川 真人	臨床検査医学	5,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
12	脂肪組織を核とした臓器間クロストークの視点から成人病胎児起源説の基礎的解析	伊東 宏晃	周産母子センター	5,700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
13	血管内滞留型新規X線CT用造影剤の開発	阪原 晴海	放射線医学	4,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
14	Premetastatic Nicheを標的にした新しい癌治療戦略の構築	今野 弘之	外科学第二	4,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
15	消化管癌に対する新たな光線力学療法の開発	田中 達郎	光学医療診療部	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
16	エバネッセント蛍光を利用した血中微量物質定量法の開発	土井 松幸	集中治療部	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
17	神経原性疼痛過敏における一酸化窒素cGMP系の脊髄での役割に関する研究	加藤 孝澄	麻酔・蘇生学	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
18	一酸化窒素の非シナプス型神経伝達に注目した麻酔薬の作用機序の解明	足立 裕史	集中治療部	700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
19	ウイルス性脳症におけるウイルスの抗アポトーシス作用と脳障害発生機構の解析	小杉 伊三夫	病理学第二	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
20	薬物代謝酵素CYP2A6遺伝子多型に基づいた抗癌剤S1による肺癌治療の有用性	乾 直輝	臨床薬理学	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
21	ゲノム解析に基づくNSAID潰瘍高リスク群の設定及びその効率的な予防戦略の確立	古田 隆久	臨床研究管理センター	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
22	グリア細胞系による消化管粘膜免疫の調節	伊熊 睦博	第一内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
23	ミトコンドリアと核のクロストーク:イノシトール三リン酸受容体を介するシグナリング	林 秀晴	内科学第三	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
24	2型脱ヨード酵素遺伝子制御機構の解析	中村 浩淑	内科学第二	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
25	単糖骨格由来合成化合物の造血器腫瘍治療薬開発に関する研究	中村 悟己	第三内科	1,400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
26	出生時の父親の年齢と自閉症関連疾患発症リスクとの関連—その生物学的基盤の究明	土屋 賢治	子どものこころの発達研究センター	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
27	自閉症における共感性の障害に関する前帯状回機能不全仮説の脳画像的・遺伝学的検証	宮地 泰士	子どものこころの発達研究センター	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
28	自閉症におけるセロトニン伝達系機能異常の機構解明	Anitha A	子どものこころの発達研究センター	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
29	出血性ショック時の麻酔薬の薬力学的変化	栗田 忠代士	麻酔科蘇生科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
30	腎癌微小環境における脳型遊離脂肪酸結合蛋白の機能解明とバイオマーカーキットの開発	大園 誠一郎	泌尿器科学	700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
31	グリオキシル酸還元酵素のミトコンドリア局在化配列の同定と原発性高尿酸血症の探索	高山 達也	泌尿器科学	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
32	頭頸部癌の上皮間葉移行に関する臨床的および基礎的研究	峯田 周幸	耳鼻咽喉科学	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
33	口腔癌胞巣内とその周囲間質へ浸潤するリンパ球の性質の相違とその機能的役割の解明	加藤 文度	歯科口腔外科学	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金
34	がん性疼痛患者におけるオピオイド鎮痛薬の体内動態と薬効・副作用の変動予測法の構築	川上 純一	薬剤部	1,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省 <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
35	エネルギー移行型蛍光プローブによる生存がん幹細胞分離法の診断と治療指標への有効性	竹下 明裕	臨床検査医学	2,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
36	腸管アルカリフォスファターゼが炎症性腸疾患の粘膜防御機構に果たす役割	杉本 健	内科学第一	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
37	インスリン抵抗性心筋細胞における基質代謝変化とトランスポーターの働き	早乙女 雅夫	第三内科	1,700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
38	インドレタミン・ジオキシゲナーゼ阻害を介した結核に対する新規細胞ワクチンの開発	須田 隆文	内科学第二	1,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
39	細胞性免疫誘導型樹状細胞の結核ワクチンへの応用	中村 祐太郎	第二内科	1,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
40	制御性T細胞が表皮ランゲルハンス細胞の動態に及ぼす影響に関する研究	瀬尾 尚宏	皮膚科学	1,900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
41	薬剤アレルギー発症を規定する薬剤抗原認識機構に関する研究	橋爪 秀夫	皮膚科学	1,800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
42	タイムラプスイメージングによる破骨細胞の動態機能解析	星野 裕信	整形外科	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
43	修復遺伝子多型・変異のCommon Cancerの遺伝的素因への影響	梶村 春彦	病理学第一	7,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
44	スタチンの新たな効果:消化管粘膜免疫への関与	大澤 恵	第一内科	700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
45	サル前頭葉への低線量X線によるホルミシス効果:神経幹細胞の増殖と認知機能への影響	武井 教使	発達研究センター	1,900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
46	新生血管の構築による新たな統合失調症治療法の開拓に向けた実験的研究	森 則夫	精神神経医学	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
47	In vivo cross-link法による自閉症関連タンパク質の網羅的検索	岩田 泰秀	精神科神経科	1,900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
48	循環腫瘍細胞の統合型オミックス解析による生物学的性状、病態診断に関する研究	前川 真人	臨床検査医学	2,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
49	臍帯血プロテオーム二次元電気泳動ゲル画像データバンクの構築	新村 千江	発達研究センター	1,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
50	iPS細胞技術を応用した統合失調症の疾患特異的幹細胞の作出とその機能解析	鈴木 勝昭	発達研究センター	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
51	非侵襲的胎児パルスオキシメーターの開発	金山 尚裕	産婦人科学	2,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
52	がん染色体不安定性の要因としての中心体サイクル制御機構異常に関する研究	新村 和也	病理学第一	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
53	成人の自閉性障害とアスペルガー障害の診断補助尺度日本版作成と信頼性・妥当性の検討	松本 かおり	発達研究センター	700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
54	個別化緩和医療に向けた遺伝情報に基づくオピオイド鎮痛薬間の至適投与量換算法の開発	内藤 隆文	薬剤部	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
55	幹細胞でのサイトメガロウイルス再活性化におけるシクロフィリンの役割	河崎 秀陽	病理学第二	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
56	マイクロRNA機構による腫瘍産生アミラーゼの病態解明と予後不良要因に関する研究	石川 仁子	検査部	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
57	腎病変進行における腫瘍壊死因子活性の多様性に関するシグナル伝達制御機構の検討	三崎 太郎	第一内科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
58	血管新生阻害剤TSU68による肝転移抑制機序の解明と至適併用スケジュールの決定	山本 真義	第二外科	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
59	近赤外(1064nm)励起ラマン分光法による消化器癌診断	川端 俊貴	外科学第二	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
60	自殺遺伝子導入幹細胞による悪性グリオーマの治療研究	天野 慎士	脳神経外科学	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
61	神経再生過程におけるアクチン細胞骨格形成-CLP36とpalladinの結合-	長谷川 智彦	整形外科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
62	アツシャー症候群本邦症例の変異解析:変異-病態スペクトラムの構築と臨床への応用	中西 啓	耳鼻咽喉科学	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
63	広汎性発達障害の早期介入指標としての乳幼児における注視点分布解析法の開発	井上 淳	精神科神経科	2,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
64	漢字認知における構成部品の意味的・音韻的情報の活性化の検討	藤田 知加子	発達研究センター	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
65	バーチャルリアリティ・テストによる自閉症スペクトラムの感情認知計測と教育への応用	渡邊 知子	精神神経医学	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
66	日本人家族性胃がんの発症に関する遺伝的要因の同定	山田 英孝	病理学第一	1,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
67	発育期ウイルス性難聴の発症機序に関する実験病理学的解析	新井 義文	病理学第二	1,800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
68	腎におけるAngIIと尿中アンジオテンノーゲン排泄を規定する因子の検討	鈴木 洋行	第一内科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
69	MRIとPETによる自閉症の脳内軸索走行とミクログリアの活性化に関する脳画像研究	竹林 淳和	精神科神経科	1,700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
70	自閉症死後脳でのセロニトランスポーター密度低下の原因探索	須田 史朗	子どものこころの発達研究センター	1,900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
71	VLDL受容体過剰発現による自閉症病態モデルの開発	岩田 圭子	子どものこころの発達研究センター	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
72	ブラジル系移民の乳幼児における生育環境と認知機能の発達の疫学的関連探索研究	村木 絃子	精神科神経科	2,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
73	未治療統合失調症のダブル・トレーサーPET研究:ドパミン神経とミクログリアの関与	横倉 正倫	精神科神経科	1,700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
74	自殺遺伝子導入iPS細胞による悪性神経膠腫治療におけるバイスタンダー効果の研究	小泉 慎一郎	脳神経外科学	1,700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
75	神経再生におけるMacrophageの役割	澤田 智一	整形外科	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
76	ヒト尿管におけるβ-アドレナリン受容体サブタイプが発現とその機能について	大塚 篤史	泌尿器科	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
77	口腔癌でのCCL22+IDO+樹状細胞による制御性T細胞の誘導とその役割の解明	渡邊 賀子	歯科口腔外科	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
78	近赤外(1064nm)励起ラマン分光法による消化器癌診断	川端 俊貴	外科学第二	643,169 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
79	腎癌におけるS100ファミリー蛋白と細胞周期G1期制御因子との関連の検討	杉山 貴之	泌尿器科	1,020,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
80	がん患者における炎症性蛋白誘導時のフェンタニル遊離動態と薬効・副作用との関係解明	高科 嘉章	薬剤部	590,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
81	前立腺がん患者におけるドセタキセルの体内動態および薬効・副作用の個人差要因の解明	丸山 修治	薬剤部	590,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
82	蛍光タンパク質を用いたヒト培養細胞における欠損型フィブリノゲンの解析	澤村 暢	検査部	590,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
83	COLD-PCRによる遺伝子変異エンリッチ法の確立と肺癌の体液診断への応用	谷口 照美	臨床検査医学	590,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費補助金
84	精神・発達障害のメカニズム解明と多目的コホートによる早期発見方法の開発	武井教使	子どものこころの発達研究センター	14,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 国立成育医療センター
85	フリーピストン型スターリング冷凍機とサーモサイフォンを用いた深部腫瘍性病変の凍結治療装置開発	磯田治夫	放射線医学	14,165,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 (独)科学技術振興機構
86	心筋運動解析のためのMRIデータの収集と解析結果の定量評価	磯田治夫	放射線医学	220,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 (財)アールテック
87	重症未熟児網膜症の病態解明と治療に関する研究	佐藤美保	眼科学	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 国立成育医療センター
88	自閉症治療研究に用いるモデル動物の開発	岩田圭子	子どものこころの発達研究センター	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 (独)科学技術振興機構
89	触法少年のサポート・システムとサポート・プログラムの開発、実態把握調査の統括	辻井正次	子どものこころの発達研究センター	9,206,236 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 (独)科学技術振興機構
90	医療画像にもとづく生体内マクロ動態解析システムの研究開発	磯田治夫	放射線医学	819,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 (財)浜松地域テクノポリス推進機構
91	四肢リンパ圧新規診断法の開発	海野直樹	第二外科	2,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 (独)科学技術振興機構

(注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合には「委」に「レ」をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	J Gastroenterol 44(4):285-96, 2009.	Cytokine responses of intraepithelial lymphocytes are regulated by histamine H(2) receptor.	伊熊睦博	第一内科
2	Cancer Epidemiol Biomarkers Prev 18:1888-93, 2009.	Fecal cyclooxygenase 2 plus matrix metalloproteinase 7 mRNA assays as a marker for colorectal cancer	伊熊睦博	第一内科
3	British J Cancer 102(5):916-21, 2010.	Factors that contribute to the fecal cyclooxygenase 2 mRNA expression in subjects with colorectal cancer.	伊熊睦博	第一内科
4	J Clin Pharmacol 50(3):320-30, 2010.	Esophageal Mucosal Injury With Low-Dose Aspirin and Its Prevention by Rabeprazole.	伊熊睦博	第一内科
5	BMC Cancer 9:408-17, 2009.	Prospective study of daily low-dose nedaplatin and continuous 5-fluorouracil infusion combined with radiation for the treatment of esophageal squamous	伊熊睦博	第一内科
6	Eur J Clin Pharmacol 65:593-600, 2009.	Effect of MDR1 C3435T polymorphism on lansoprazole in healthy Japanese subjects.	伊熊睦博	第一内科
7	New Engl J Med 360(17):1792-1793, 2009.	Mutations in a thiamine-transporter gene and Wernicke's-like encephalopathy.	河野智	第一内科
8	Neurology 73(24):2124-2126, 2009.	Novel compound heterozygous ALS2 mutations cause juvenile amyotrophic lateral sclerosis in Japan.	白川健太郎	第一内科
9	神経心理学 25:281-289, 2009.	Frontal system behavior scale (FrSBE) によるパーキンソン病の前頭葉機能評価.	寺田達弘	第一内科
10	Nephrol Dial Transplant 24:2686-2692, 2009.	Cell division and phenotypic regression of proximal tubular cells in response to uranyl acetate insult in	藤垣嘉秀	第一内科
11	Ren Fail 32:119-125, 2010.	Immunohistochemical study of heat shock protein 27 with respect to survival and regeneration of proximal tubular cells after uranyl acetate-induced acute tubular injury in rats.	藤垣嘉秀	第一内科
12	Toxicol Appl Pharmacol 243:104-110, 2010.	Acquired resistance to rechallenge injury in rats recovered from subclinical renal damage with uranyl acetate - Importance of proliferative activity of	孫媛	第一内科
13	Am J Pathol 175:74-83, 2009.	Decrease in tumor necrosis factor-alpha receptor-associated death domain results from ubiquitin-dependent degradation in obstructive renal injury in	三崎太郎	第一内科
14	Clin Exp Pharmacol Physiol 36(8):750-755, 2009.	Role of activated intrarenal reactive oxygen species and renin-angiotensin system in IgA nephropathy	大橋温	第一内科
15	Minerva Urol Nefrol 61(1):55-60, 2009.	Activated intrarenal reactive oxygen species and renin angiotensin system in IgA nephropathy.	大橋温	第一内科
16	Clin Exp Pharmacol Physiol 36(5-6):509-515, 2009.	Activation of reactive oxygen species and the renin-angiotensin system in IgA nephropathy model mice.	大橋温	第一内科
17	Aliment Pharmacol Ther 30:294-300, 2009.	[13C]-pantoprazole breath test to predict CYP2C19 phenotype and efficacy of a proton pump inhibitor, lansoprazole.	伊熊睦博	第一内科
18	Eur J Clin Pharmacol 65:693-8, 2009.	CYP2C19 genotype is associated with symptomatic recurrence of GERD during maintenance therapy with low-dose lansoprazole.	伊熊睦博	第一内科
19	Regul Pept 156 : 57-64, 2009	The role of store-operated Ca ²⁺ channels in adrenocorticotropin release by rat pituitary cells.	山下美保	第二内科
20	J Clin Pharmacol 50 : 88-93, 2009	Effect of thyroid hormone on the activity of CYP3A enzyme in humans.	Takahashi N	第二内科
21	Endocr J 57:109-17, 2010	Possible contribution of 2-aminoethoxydiphenylborate-sensitive Ca ⁺⁺ mobilization to adrenocorticotropin-induced glucocorticoid synthesis in rat adrenocortical cells.	Hayashi C	第二内科
22	Endocr J. 57:395-401, 2010	High incidence of thyroid cancer in focal thyroid incidentaloma detected by 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography in relatively young	Ohba K	第二内科
23	Endocr J. 56:1095-1101, 2009	Investigation into the efficacy and safety of Octreotide LAR in Japanese patients with acromegaly	Oki Y	第二内科
24	Endocr J 56 : 897-904, 2009.	Development and validation of a 0.5 mg dexamethasone suppression test as an initial screening test for the diagnosis of ACTH-dependent Cushing's	Oki Y	第二内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
25	アレルギーの臨床 29(4): 355-358, 2009.	抗結核薬による副作用に対するDLST.	鈴木勇三	第二内科
26	日本呼吸器学会雑誌 47(6): 455-461, 2009.	肺癌に合併した肺アスペルギルス症の臨床的検討..	松浦駿	第二内科
27	Cardiovasc. Res. 83: 97-105, 2009.	Extracellular acidosis suppresses endothelial function by inhibiting store-operated Ca ²⁺ entry via non-selective cation channels.	浅井正嘉	第三内科
28	Circ. J. 73: 1133-1140, 2009.	Protein phosphatase inhibitor-1 augments a protein kinase A-dependent increase in the Ca ²⁺ loading of the sarcoplasmic reticulum without changing its Ca ²⁺	河島広貴	第三内科
29	Physiol. 296: H1125-H1132, 2009.	Transient opening of mitochondrial permeability transition pore by reactive oxygen species protects myocardium from ischemia/reperfusion injury. Am. J.	早乙女雅夫	第三内科
30	J. Cardiac. Fail. 15: 419-427, 2009.	Delayed enhancement on cardiac magnetic resonance and clinical, morphological and electrocardiographical features in hypertrophic cardiomyopathy.	佐藤洋	第三内科
31	J. Mol. Cell. Cardiol. 46: 989-997, 2009.	Local control of mitochondrial membrane potential, permeability transition pore and reactive oxygen species by calcium and calmodulin in rat ventricular	小田切圭一	第三内科
32	日本臨床免疫学会会誌 36(6):499-505,2009.	難治性関節リウマチ(RA)に対する白血球除去療法(LCAP)の臨床的有用性の検討.	澤田 仁	第三内科
33	日本臨床免疫学会会誌 32(1):53-60,2009.	シェーグレン症候群における口唇唾液腺生検に関する検討.	下山久美子	第三内科
34	日本臨床免疫学会会誌 32(4):263-268,2009.	ミコフェノール酸モフェチルの全身性エリテマトーデスにおける有用性の検討.	鈴木大介	第三内科
35	Journal of Environmental Biology. 30: 945-950, 2009.	A novel phospho sugar analogue: synthesis and evaluation of 2,3-dibromo-3-methyl-1-phenylphospholane 1-oxide having potential anti-proliferative effects for human tumors.	Fujie M	第三内科
36	Oncogene. 28: 2393-405, 2009.	Fbw7 promotes ubiquitin-dependent degradation of c-Myb-involvement of GSK3-mediated phosphorylation of Thr-572 in mouse c-Myb.	Kitagawa K	第三内科
37	J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci. 877: 2624-2629, 2009.	Electrospray ionization tandem mass spectrometric determination of monomethylarsonic acid and dimethylarsinic acid after adduct formation with citric	Minakata K	第三内科
38	Jpn J Transfusion Cell Therapy. 55:63-7, 2009.	Effective Blood Utilization via System for Massive Blood Transfusion, including Cardiovascular Operation in Local Areas.	Takeshita A	第三内科
39	Br J Haematol. 146:34-43, 2009.	CMC-544 (inotuzumab ozogamicin) shows less effect on multidrug resistant cells: analyses in cell lines and cells from patients with B-cell chronic lymphocytic leukaemia and lymphoma.	Takeshita A	第三内科
40	Leukemia. 23:1329-36, 2009.	CMC-544 (inotuzumab ozogamicin), an anti-CD22 immuno-conjugate of calicheamicin, alters the levels of target molecules of malignant B-cells.	Takeshita A	第三内科
41	日本輸血細胞治療学会誌 55: 63-67, 2009.	地方病院における大量輸血対応体制の構築と血液の有効利用.		第三内科
42	Int J Hematol 90:191-198, 2009.	Management of infection in patients with acute leukemia during chemotherapy in Japan: questionnaire analysis by the Japan Adult Leukemia Study Group.	ujita H	第三内科
43	Int J Hematol 89:332-341, 2009.	Phase 1/2 clinical study of dasatinib in Japanese patients with chronic myeloid leukemia or Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia.	Sakamaki H	第三内科
44	Int J Environ Res Public Health. Dec;6(12):3056-69. 2009. [IF=1.0]	Assessment of Japanese stimulant control law offenders using the Addiction Severity Index-- Japanese version: comparison with patients in	渡部崇	精神科神経科
45	Arch Gen Psychiatry. Jan;67(1):59-68.2010. [IF=12.257]	Brain serotonin and dopamine transporter bindings in adults with high-functioning autism.	中村和彦	精神科神経科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
46	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. Feb 1;34(1):154-8.2010.	Serum levels of platelet-derived growth factor BB homodimers are increased in male children with autism.	梶塚正誠	精神科神経科
47	Neurosci Lett. May 15;455(2):120-3. 2009. [IF=1.925]	An association study of monoamine oxidase A (MAOA) gene polymorphism in methamphetamine psychosis.	中村和彦	精神科神経科
48	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. 2010 Apr 16;34(3):455-8. Epub 2010 Jan 13. [IF=2.823]	Decreased serum levels of adiponectin in subjects with autism.	藤田(清水) 梓	精神科神経科
49	Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet. Oct 5;150B(7):967-76.2009. [IF=3.481]	Association studies and gene expression analyses of the DISC1-interacting molecules, pericentrin 2 (PCNT2) and DISC1-binding zinc finger protein (DBZ), with schizophrenia and with bipolar disorder.	Anitha A	精神科神経科
50	Reversal by Fluoxetine. PLoS ONE 5(2): e9260, 2010. [IF=0]	Destruction of Dopaminergic Neurons in the Midbrain by 6-Hydroxydopamine Decreases Hippocampal Cell Proliferation in Rats:	鈴木勝昭	精神科神経科
51	Int J Neuropsychopharmacol. 2009 Nov 9:1-6. [Epub ahead of print]. [IF=4.874]	Metabolite alterations in the hippocampus of high-functioning adult subjects with autism.	鈴木勝昭	精神科神経科
52	Journal of Developmental Origins of Health and Disease . IF = 0	Searching for very early precursors of autism spectrum disorders: the Hamamatsu Birth Cohort for Mothers and Children (HBC).	土屋賢治	こどものこころ
53	The American Journal of Roentgenology, 192: 156- 160, 2009. [IF=2.951]	Prognostic value of 18F-FDG PET in patients with head and neck squamous cell cancer.	鳥塚達郎	こどものこころ
54	The Journal of Nuclear Medicine, 50: 1579-1584, 2009. [IF=6.424]	Single 20-second acquisition of deep-inspiration breath-hold PET/CT: Clinical feasibility for lung cancer.	鳥塚達郎	こどものこころ
55	中京大学現代社会学部紀要, 3(1),1-8, 2010.	読み書きに困難を覚える通常学級在籍児童への学習相談	藤田知加子	こどものこころ
56	精神医学(印刷中)[0]	抑うつと特性不安から見た小中学生の精神的健康の構造的検討.	谷伊織	こどものこころ
57	精神医学 (印刷中)[0]	小中学生の攻撃性一特性不安および抑うつとの関連からの検討.	伊藤大幸	こどものこころ
58	中部消費者教育論集, 5, 17- 28. (2009)[0]	飲み物の飲用実態が示唆する消費者教育への一考察.	谷伊織	こどものこころ
59	Leukemia Res33:1696-1698, 2009.	Differential regulation of 11 α -hydroxysteroid dehydrogenase-1 by dexamethasone in glucocorticoid-sensitive and -resistant	Sai S	小児科
60	Pediatr Int 2009;51:415-8.	Brain natriuretic peptide levels in Kawasaki disease: a case report.	Iwashima S	小児科
61	Biochem J. 25;423(2):219- 231, 2009.	Nitration of tyrosine residues 368 and 345 in the beta-subunit elicits FoF1-ATPase activity loss.	Fujisawa Y	小児科
62	Pediatr Cardiol 2010 Feb 7.	Effect of Cibenzoline on Biventricular Pressure Gradients in a Pediatric Patient with Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy.	Ishikawa T	小児科
63	Pediatr Cardiol 2010.	Delayed Enhancement Cardiac Magnetic Resonance Imaging in Propionic Acidemia.	Iwashima S	小児科
64	Ann Thorac Surg 88(3), 768- 771, 2009.	Anatomical pattern of feeding artery and mechanism of intraoperative spinal cord ischemia.	椎谷紀彦	第一外科
65	脈管学, 49(4), 281-286, 2009.	胸部下行領域におけるstent graftとopen surgeryの棲み分けと成績の現状.	椎谷紀彦	第一外科
66	Surg Today. 39(12): 1046- 53. 2009.	TSU68, Antiangiogenic Receptor Tyrosine Kinase Inhibitor Induces Tumor Vascular Normalization in Human Cancer Xenograft Nude Mouse Model,	Ohta M	第二外科
67	Cancer Sci 101(1): 267-273, 2010.	Imaging mass spectrometry of gastric carcinoma in formation-fixed paraffin embedded tissue microarray.	Morita Y	第二外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
68	J Vasc Surg 50: 1085-1091, 2009.	Impaired lymphatic function recovered after great saphenous vein stripping in patients with varicose vein: venodynamic and lymphodynamic results.	Suzuki M	第二外科
69	静脈学 20(3): 241-244, 2009.	伏在型下肢静脈瘤に対する選択的ストリッピング手術	山本尚人	第二外科
70	静脈学 20(4):	当科における下大静脈フィルターの適応と成績: 永久的フィルターか、一時的フィルターか?	田中宏樹	第二外科
71	Int J Oncology 35: 1265-1270, 2009 (IF:2.23)	Use of genetically engineered bone marrow-derived mesenchymal stem cells for glioma gene therapy.	難波宏樹	脳神経外科
72	Brain Res 1317: 227-235, 2010 (IF:2.49)	Different striatal D2-like receptor function in an early stage after unilateral striatal lesion and medial forebrain bundle lesion in rats.	杉山憲嗣	脳神経外科
73	Cancer Lett 291:256-262, 2010 (IF:3.50)	Therapeutic effect of genetically engineered mesenchymal stem cells in rat experimental	難波宏樹	脳神経外科
74	J Sci Med Sport 12:611-613,2009.[1.913]	Evaluation of team-doctor actions during football games in Japanese professional football.	高橋 正哲	整形外科
75	J Knee Surg 22(4):358-360,2009.	Patellar impingement by synovial cord following anterior cruciate ligament reconstruction. J Knee Surg 22(4):358-360,2009.	高橋 正哲	整形外科
76	Neurochemistry International 56 (2010) 387-393[3.541]	Temporal-spatial expression of presenilin 1 and the production of amyloid- β after acute spinal cord injury in adult rat.	小林 祥	整形外科
77	中部整災誌 52(2):407-408,2009.	経過観察中に複数回の病的骨折を生じた骨系統疾患の3例.	星野裕信	整形外科
78	Hip Joint 35:687-689, 2009.	K-MAX Q セメントレスTHAにおけるステム屈曲位設置が中期成績に及ぼす影響.	星野裕信	整形外科
79	中部整災誌 52(6) : 1447-1448,2009.	股関節周辺不顕性骨折の頻度について.	伊藤高規	整形外科
80	2009.	外傷性肩関節脱臼に合併した神経麻痺の検討.	澤田智一	整形外科
81	Osteoporosis Japan 17(1):58-60, 2009.	カルシトニン製剤が大腸骨頸部・転子部骨折患者の術後QOLに与える影響.	山崎 薫	整形外科
82	Osteoporosis Japan 17(2) : 160-164, 2009.	SOS値の加齢変化の検証とSOS値による骨折閾値設定の可能性. Osteoporosis Japan	山崎 薫	整形外科
83	Br. J. Dermatol.161; 486-488, 2009.	Emergence of circulating monomyeloid precursors predicts reactivation of human herpesvirus-6 in drug-induced hypersensitivity syndrome.	橋爪 秀夫	皮膚科
84	Arch Dermatol. Res. 301; 347-355, 2009.	Roxithromycin antagonizes catagen induction in murine and human hair follicles: implication of topical roxithromycin as hair restoration reagent	伊藤泰介	皮膚科
85	Arch. Dermatol. Res. 301; 373-380, 2009.	Combination therapy with oral PUVA and corticosteroid for recalcitrant alopecia areata.	Ito T	皮膚科
86	J. Invest. Dermatol., 130; 995-1004, 2010.	Corticotropin-releasing hormone stimulates the in situ generation of mast cells from precursors in the human hair follicle mesenchyme.	伊藤なつ穂	皮膚科
87	Respir. Med. 103; 846-853, 2009.	Acute exacerbation of interstitial pneumonia associated with collagen vascular diseases.	須田隆文	皮膚科
88	Anticancer Res 29 : 1001-1008, 2009.	Significance of 5-fluorouracil-related enzyme activities in predicting sensitivity to 5-fluorouracil in bladder carcinoma.	古瀬 洋	泌尿器科
89	Biomed Res 30 : 295-301, 2009.	Assay of alanine: glyoxylate aminotransferase in human liver by its serine: glyoxylate aminotransferase	永田仁夫	泌尿器科
90	Int J urol 16:924-8, 2009.	BK virus nephropathy : Clinical experience in a university hospital in Japan.	高山達也	泌尿器科
91	Urol Int 82:388-393, 2009.	Impact of thymidine phosphorylase-expressing macrophages for surgical margin in partial	劉紅明	泌尿器科
92	Jpn J Clin Oncol 39:310-314, 2009.	Efficacy of adjuvant interferon-alpha therapy following curative resection in renal cell carcinoma : before the molecular targeting therapy era.	甲斐文丈	泌尿器科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
93	Clin Biochem 42 : 595-601, 2009.	Cyclosporine concentration-dependent increase in concentration ratio of mycophenolic acid acyl and phenol glucuronides to mycophenolic acid in stable kidney transplant recipients.	内藤隆文	泌尿器科
94	J Clin Pharmacol 49 : 710-718, 2009.	Impact of calcineurin inhibitors on urinary excretion of mycophenolic Acid and its glucuronide in kidney transplant recipients.	内藤隆文	泌尿器科
95	Clin Chim Acta 409 : 56-61, 2009.	Inosine monophosphate dehydrogenase activity depends on plasma concentrations of mycophenolic acid and its glucuronides in kidney transplant	内藤隆文	泌尿器科
96	Int J cancer, 2010.	Reduction of transforming growth factor-type II receptor is caused by the enhanced ubiquitin-dependent degradation in human renal cell	深澤洋敬	泌尿器科
97	今日の移植 22 : 664-666, 2009.	腎移植患者における赤血球中イノシン-リン酸脱水素酵素活性に及ぼすミコフェノール酸とそのグルクロン酸抱合体の影響.	内藤隆文	泌尿器科
98	Basic Clin Pharmacol Toxicol 106:310-316, 2010.	Impact of Concentrative Nucleoside Transporter I Gene Polymorphism on Oral Bioavailability of Mizoribine in Stable Kidney Transplant Recipients.	内藤隆文	泌尿器科
99	Cutan Ocul Toxicol 28: 83-89.	The effect of levocabastine hydrochloride on human Tenon's capsule fibroblasts: inhibition of proliferation, suppression of DNA synthesis and induction of	Asaoka R	眼科
100	Jpn J Ophthalmol 53:546-548.	Multifocal Retinal Pigment Epithelial Detachments Associated with Abnormal Multifocal	Koide K	眼科
101	Asaoka R, Strouthidis NG, Kappou V, Gardiner S, Garway-Heath DF (2009)	HRT-3 Moorfields Reference Plane: Effect on Rim Area Repeatability and Identification of Progression.	Asaoka R	眼科
102	眼臨紀 3(1): 52-55.	Newcastle Control Scoreによる間欠性外斜視の評価について.	鷲山愛	眼科
103	Audiol Neurootol 15(4):247-253, 2009	Ultrastructural localization of cochlin in the rat cochlear duct.	Hosokawa S	耳鼻咽喉科
104	Clin Genet 76(4):383-391, 2009	Identification of 11 novel mutations in USH2A among Japanese patients with Usher syndrome type 2.	Nakanishi H	耳鼻咽喉科
105	Audiol Neurootol. 14(3):146-52, 2009	Cochlear implant in children with asymptomatic congenital cytomegalovirus infection.	Iwasaki S	耳鼻咽喉科
106	The Internet Journal of Otorhinolaryngology 9(2)	Isolated inverted papilloma of the sphenoid sinus associated with HPV type 16.	Misawa K	耳鼻咽喉科
107	Auris Nasus Larynx 37: 121-124, 2010.	Diaphragmatic rupture due to violent cough during tracheostomy.		耳鼻咽喉科
108	Mol Cancer Ther 8(4):893-903, 2009	TW-37, a small-molecule inhibitor of Bcl-2, mediates S-phase cell cycle arrest and suppresses head and neck tumor angiogenesis.	Ashimori N	耳鼻咽喉科
109	頭頸部外科 19(3):167-171, 2009.	長期間経過後に診断された耳下腺MALTリンパ腫症例.	細川誠二	耳鼻咽喉科
110	耳喉頭頸2(2):105-109, 2010	耳下腺MALTリンパ腫の臨床的検討.	細川誠二	耳鼻咽喉科
111	2009.	例.	中西啓	耳鼻咽喉科
112	Audiology Japan 52(3): 172-176, 2009	人工内耳装用児における注意力欠損、多動・衝動性の経時的変化.	中西啓	耳鼻咽喉科
113	総合リハビリテーション 37(7) 657-662, 2009.	頭頸部癌に対する頸部郭清術後の肩関節機能評価と訓練効果.	泉良太	耳鼻咽喉科
114	Life Sci: 220-225, 2009.	Inactivation of plasminogen activator inhibitor type 1 by activated factor X II plays a role in the enhancement of fibrinolysis by contract factors in-	Kanayama N	産科婦人科
115	Current women's health reviews 5: 212-219, 2009.	Low birth weight and risk of obesity-a potential problem for the Japanese people.	Itoh H	産科婦人科
116	Photodermatol Photo 25: 259-263, 2009.	Antitumor effect of photodynamic therapy in mice using direct application of photofrin dissolved in	Murakami H	産科婦人科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
117	Placenta 31: 245-248, 2010.	Comparison of phospholipid molecular species between terminal and stem villi of human term placenta by imaging mass spectrometry.	Itoh H	産科婦人科
118	Congenital Anomalies 49: 71-76, 2009.	Chorangiosis and Placental Oxygenation.	Suzuki K	産科婦人科
119	日本妊娠高血圧学会雑誌 17: 19-22, 2009.	PIH妊婦の栄養管理とエピジェネティクス	伊東宏晃	産科婦人科
120	日本周産期・新生児医学会雑誌 45: 1499-1504, 2009.	妊娠中に羊水過多をきたしたOpitz G/BBB症候群の1例	大石彰	産科婦人科
121	Cardiovasc Intervent Radiol 33 (1): 191-195, 2010.	Laparotomized direct puncture for embolization of a retroperitoneal arteriovenous fistula.	稲川正一	放射線科
122	Anesthesia & Analgesia 109(6):1836-1842, 2009【麻酔・蘇生学】[2.59]	A Visual Stethoscope to Detect the Position of the Tracheal Tube.	加藤弘美	麻酔科蘇生科
123	Anesthesia & Analgesia 109(2): 398-404, 2009【麻酔・蘇生学】[2.59]	The Influence of Hemorrhagic Shock on the Electroencephalographic and Immobilizing Effects of Propofol in a Swine Model.	栗田忠代士	麻酔科蘇生科
124	J Anesthesia 23:624-627, 2009【麻酔・蘇生学】[0.837]	Nafamostat prevents hypothermia and improves survival time after administration of lipopolysaccharide in a mouse surgical model.	足立裕史	麻酔科蘇生科
125	蘇生 28(1):7-14, 2009【麻酔・蘇生学】[0]	東海地区学生Advanced Cardiac Life Support(ACLS)ワークショップの特徴と問題点.	金子真弓	麻酔科蘇生科
126	Oral Med Pathol 14 91-97 2010	Expression of p16INK4A in ameloblastoma; immunohistochemical and FISH analysis.	Suzuki H	歯科口腔外科
127	J Dermatolog Treat 21 4 232-239 2010	Photodynamic therapy with intradermal administration of 5-aminolevulinic acid for port-wine stains	Li W	歯科口腔外科
128	J Anesth 23:304-305, 2009	Radial artery cannulation using the Insite-A device with ultrasound assistance.	内崎紗貴子	集中治療部
129	J Anesth 23:624-627, 2009	Nafamostat prevents hypothermia and improves survival time after administration of lipopolysaccharide in a mouse surgical model.	足立裕史	集中治療部
130	Exp Anim 59: 199-205, 2010	Evaluation of the hypnotic and hemodynamic effects of dexmedetomidine on propofol-sedated swine.	佐野秀樹	集中治療部
131	Curr Med Chem, 17 (3), 222-233, 2010	Spatiotemporal regulation of DNA replication in the human genome and its association with genomic instability and disease.	渡邊良久	臨床検査医学
132	Br J Haematol, 146 (1), 34-43, 2009	CMC-544 (inotuzumab ozogamicin) shows less effect on multidrug resistant cells: analyses in cell lines and cells from patients with B-cell chronic lymphocytic leukaemia and lymphoma.	竹下明裕	臨床検査医学
133	Leukemia, 23 (7), 1372, 2009	CMC-544 (inotuzumab ozogamicin), an anti-CD22 immuno-conjugate of calicheamicin, alters the levels of target molecules of malignant B-cells.	竹下明裕	臨床検査医学
134	Jpn J Transfusion Cell Therapy, 55(1), 63-67, 2009	Effective Blood Utilization via System for Massive Blood Transfusion, including Cardiovascular Operation in Local Areas.	竹下明裕	臨床検査医学
135	Int J Cancer, 125 (4), 973-976, 2009	Identification and characterization of a novel germline p53 mutation in a patient with glioblastoma and colon	Maekawa M	臨床検査医学
136	Rinsho Byori, 57(7), 659-664, 2009	Risk assessment of pressure ulcers occurred in perioperative and hospitalized patients.	金子 誠	臨床検査医学
137	医薬ジャーナル45(12),3069-3074,2009	【IGF-I異常症としての先端巨大症】症例提示(成長ホルモン受容体拮抗剤)ソマトスタチンアナログと成長ホルモン受容体拮抗剤の併用療法.	飯野和美	検査部
138	Con ホルモンと臨床 57(7),635-639,2009	副腎サブクリニカルクッシング症候群は手術すべきである	飯野和美	検査部
139	日本救命医療学会雑誌 23: 1-8, 2009.	。循環血液量減少性ショックおよび感染性ショックにおける胃粘膜二酸化炭素分圧 (PgCO2) の治療モニタとしての有用性。	青木克憲	救急医学
140	日本形成外科学会会誌 29, 259-264,2009.	Extensive pyoderma chronica: Two case reports - Treatment of pyoderma chronica -.	Mizukami T	形成外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
141	J Plast Reconstr Aesthet Surg 62, e373-378, 2009	Sentinel lymph node detection in skin cancer patients using real - time fluorescence navigation with indocyanine green preliminary experience.	Fujiwara M	形成外科
142	J Craniofac Surg 20:1182-1185, 2009	Prefabricated scalping forehead flap with skeletal support.	Fujiwara M	形成外科
143	J Plast Reconstr Aesthet Surg 2010; Mar 12 [Epub ahead of print]	Mid-arm lymph nodes dissection for melanoma.	藤原雅雄	形成外科
144	The Open Surgical Oncology Journal, 2010;2:57-61.	Sentinel Lymph Node Detection by Indocyanine Green Fluorescence Imaging in Skin Cancer Patients: Technical Refinement	水上高秀	形成外科
145	麻酔 58(3): 378-383, 2009	吸入麻酔薬による全身麻酔中の局所への血管収縮(エピネフリン)の使用状況ならびに偶発症発生に関する緊急アンケートの報告.	白石義人	手術部
146	臨床麻酔学会誌 29 (1): 15-22, 2009	神経筋接合部に影響する薬物とモニタリング.	白石義人	手術部
147	麻酔 59(3):328-337, 2010	妊娠中の非産科手術の麻酔:妊婦が脳血管障害を発症したら	秋永智永子	手術部
148	2009	看護師の業務量調査から見た手術室の効率的運用	白石義人	手術部
149	Anesthesia and Analgesia 109:393-404, 2009	The Influence of Hemorrhagic Shock on the Electroencephalographic and Immobilizing Effects of Propofol in a Swine Model,	Kurita T	手術部
150	日本外科学会雑誌 111巻臨増2:675, 2010	肝内胆管細胞癌におけるM-CSF発現、腫瘍内、腫瘍周囲肝組織マクロファージ密度と予後の関連性	馬場 聡	病理部
151	日本外科学会雑誌 111巻臨増2:317, 2010	質量顕微鏡による胃癌凍結標本の解析	馬場 聡	病理部
152	Nephron Clin Pract 114: c29-c37, 2010 [1.72]	A small reduction in the ankle-brachial index is associated with increased mortality in patients on chronic hemodialysis,	加藤明彦	血液浄化療法部
153	Clin Exp Nephrol 14: 100-101, 2010 [0.00]	Accumulation of lanthanum carbonate in the digestive tracts,	加藤明彦	血液浄化療法部
154	日本病態栄養学会誌13: 35-39, 2010 [0.00]	頭頸部がん治療による体重減少および経口摂取不足に対し、NSTによる栄養介入の有用性、	加藤明彦	血液浄化療法部
155	Clin Biochem 42: 595-601, 2009.	Cyclosporine concentration-dependent increase in concentration ratio of mycophenolic acid acyl and phenol glucuronides to mycophenolic acid in stable kidney transplant recipients.	見野靖晃	薬剤部
156	J Clin Pharmacol 49: 568-573, 2009.	Effects of statins on the pharmacokinetics of midazolam in healthy volunteers.	石代真貴子	薬剤部
157	J Clin Pharmacol 49: 710-718, 2009.	Impact of calcineurin inhibitors on urinary excretion of mycophenolic acid and its glucuronide in kidney transplant recipients.	内藤隆文	薬剤部
158	J Clin Pharm Ther. 34: 523-529, 2009.	Validated LC coupled to ESI-MS/MS analysis for fentanyl in human plasma and UV analysis in applied reservoir transdermal patches using a simple and rapid	高科嘉章	薬剤部
159	Clin Chim Acta 409: 56-61, 2009.	Inosine monophosphate dehydrogenase activity depends on plasma concentrations of mycophenolic acid and its glucuronides in kidney transplant	見野靖晃	薬剤部
160	Exp Cell Res 315: 2818-2823, 2009.	Lipid rafts serve as signaling platforms for Tie2 receptor tyrosine kinase in vascular endothelial cells.	加藤真也	薬剤部
161	Yakugaku Zasshi 130: 431-439, 2010.	Surveillance of workplace contamination and occupational exposure to antineoplastic agents in a hospital setting: establishment of a monitoring method	内藤隆文	薬剤部
162	Blood 114: 3352-3358, 2009.	Tissue-type plasminogen activator (t-PA) induces stromelysin-1 (MMP-3) in endothelial cells through activation of lipoprotein receptor-related protein.	山川花朱美	薬剤部

診療並びに病院の管理に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 瀧川 雅浩		
管理担当者氏名	総務課長 村井澄夫	人事課長 小林照夫	医事課長 仲井精一
	薬剤部長 川上純一	放射線部長 阪原晴海	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院治療計画書		医事課 診療日誌は各診療科、処方せんは薬剤部、X線写真は放射線部	カルテは、入院、外来を含め一患者一ファイル方式として、保存管理している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者を明らかにする帳簿	人事課	/	
	高度医療の提供の実績	医事課		
	高度医療技術の開発及び評価の実績	総務課		
	高度医療の研修の実績	医事課		
	閲覧実績	医事課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部		
	規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる様式	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医事課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医事課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医事課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医事課
		専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医事課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医事課
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課		
	当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の1第1項各号及び第9条の2第1項第1号に掲げる体制の確保状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課
		院内感染のための委員会の開催状況	医事課
		従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医事課
		従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医事課
		従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療の提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	次長(病院担当)	中西治幸
閲覧担当者氏名	医事課長	仲井精一
閲覧の求めに応じる場所	閲覧室	

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療の提供の実績

紹介率	65.0%	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数	10,958人	
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	5,488人	
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,855人	
	D : 初診の患者の数	22,665人	

(注) 1 「紹介率」欄はA、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dはそれぞれの延べ数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・指針の主な内容</p> <p>安全管理に関する基本的な考え方</p> <p>安全管理体制確保のための委員会組織等</p> <p>医療事故発生時の対応等</p> <p>診療科及び中央診療施設ごとに安全管理のためのマニュアルを設置し、適切に対応</p> <p>患者からの医療の安全に関する相談・苦情等に対応するため患者相談窓口を設置</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>医療安全管理体制の確保に関すること</p> <p>医療事故等の把握、分析、対処改善及び評価に関すること</p> <p>医療安全管理のための職員研修に関すること</p> <p>その他の医療の安全管理に関すること</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4 回
<p>・研修の主な内容</p> <p>講演会4回</p> <p>医療安全管理及び感染対策に係る新任者研修</p> <p>研修医ガイダンス(医療事故・安全対策について)</p> <p>新採用者オリエンテーション(事故防止に関すること等)</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>医療事故対策チームを設置し、医療事故につながる重篤な事態が生じた場合、速やかに患者の状態を確認し、主治医に専門分野としての判断による指示を与え治療に対する支援を行う。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(1名) <input type="checkbox"/> 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・所属職員: 専任(2)名 兼任(20)名</p> <p>・活動の主な内容</p> <p>医療事故及びインシデントの収集、調査、分析に関すること</p> <p>医療事故防止対策の立案及び周知に関すること</p> <p>リスクマネージャーとの連絡調整に関すること</p> <p>医療事故防止に係る教育、研修、啓発の立案に関すること</p>	
⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

院内感染のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・指針の主な内容 ①院内感染対策に関する基本的な考え方 ②院内感染対策に関する管理組織機構 ③職員研修に関する基本方針 ④感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ⑤アウトブレイクあるいは異常発生時の対応に関する基本方針 ⑥患者等への情報提供と説明に関する基本方針 ⑦その他院内感染対策の推進のための基本方針	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
・活動の主な内容 ①審議事項: 毎回1~2事項 ②報告事項 1) 感染症情報レポート 2) MRSAサーベイランス報告 3) ICTラウンド・コンサルテーション報告 4) 歯科口腔外科における感染症サーベイランス報告 5) 病棟別・診療科別抗菌薬使用状況の報告	
③ 従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	年 11 回
・研修の主な内容 ①感染対策講習会: 3回/年 ②研修医: ガイダンス、プライマリ・ケア ③新採用看護師: オリエンテーション(感染対策に関わること)、尿道留置カテーテル管理 ④中途採用看護職員研修: 毎月 ⑤看護師: 静脈注射に必要な感染対策	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	
・病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 ①週1回のICTラウンドによる抗菌薬適正使用、感染対策の確認 ②院内Web内感染対策HPによる情報提供 ③ICT NEWSによる情報提供、注意喚起	

医薬品の使用に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>1) 研修医に対してオーダ入力における医療事故防止対策、 2) 看護師に対して静脈投与に関する医療事故防止対策、 3) 全職員を対象として薬剤用における医療事故防止対策について</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	年 1 回
<p>・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・業務の主な内容</p> <p>薬事(新薬採用および購入など)、薬品管理、患者に対する医薬品の投薬指示および調剤、患者に対する投薬および服薬指導、医薬品の安全使用に係る情報の取り扱い、他施設(病院、薬局)との連携</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>病院内WEBの薬剤部HPに医薬品安全使用のための業務手順書、要注意薬一覧、抗がん剤の取り扱い、医薬品の添付文書、インタビューフォーム、医薬品の採用情報など掲載し、周知した。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 76 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>医政指発第0330001号、医政研発第0330018号に従った特定高度管理医療機器を中心に、高度管理医療機器、一般医療機器などを含めた院内使用頻度の高い機器の院内医療従事者対象とする研修会を平成21年度に57回実施した。また、医療機器関連学会認定資格取得などのため、医療機器管理部スタッフを対象に19回の講習会参加を実施した。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	年 582 回
<p>・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・保守点検の主な内容</p> <p>21年度医療機器管理部の所轄する医療機器の保守点検を582回(内部にて536回、外部業者委託にて46回)行った。点検計画は、機器添付マニュアルの推薦する頻度、条件に従い点検項目を策定し、推薦する手法・手順にて行っている。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>該当機器関連メーカーからの安全性情報および医薬品、医療機器総合機構からの安全性情報を収集(自動配信メールリストに登録済)し、医療機器管理部の院内ホームページにて広報するとともに、当該機器関連部署に文書にて連絡する。また、GRM経由、医療安全管理室(院内医療安全委員会)へ通達している。</p>	